

学校教育目標 『一人一人が輝き、かかわり合いながらともに成長する児童の育成』



校訓 「正直 勤勉 愛語 進取」

笠野だより

笠野小学校だより 第7号

令和3年10月1日

Tel 288-8651 Fax288-8652

e-mail

kasano-es@m2.spacelan.ne.jp

実りの秋・充実の秋を迎えて

校長 香林 直晴

先日の運動会には、平日開催になったにもかかわらず、多くの保護者の皆様方のご参観、そして温かなご声援をいただき、誠にありがとうございました。気持ちのよい秋晴れの下、子どもたちはこれまでの練習の成果を十分に発揮しすばらしい運動会となりました。今年のスローガンにあるように「コロナに打ち勝つほどの元気で思い出になる運動会」になったのではないかと思います。短い時間でしたが子どもたちの運動会本番での頑張りや、てきぱきと行動する姿を見ていただくことができ本当にうれしく思います。また、保護者の皆様には、運動会後のテントの片づけ等でもご協力いただき、併せてお礼申し上げます。

秋は「実りの秋」であり、学校においては「充実の秋」です。年度の間で、気候も良く勉強やスポーツに最も取り組みやすいこの時季は、子どもたちが一番成長する時です。学校と家庭がより一層連携し、子どもたちの成長を後押しすることで、さらに「充実の秋」となるようにしたいものです。

【運動会の様子】



10月の生活目標 「きもちのよいことばづかいをしよう」

「相手の気持ちを考えて話そう」と、「場にあった言葉づかいをしよう」を重点として指導します。

相手の気持ちを考え、言われてうれしくなる言葉（ふわふわ言葉）をどんどん使い、反対に、言われていやな言葉（ちくちく言葉）を使わないようになってほしいものです。

また、休み時間と授業中の話し方や、友だち同士と先生に対するときの話し方の使い分けなど、その場に応じた話し方ができることも大切です。

ご家庭でも、あいさつとともに、言葉づかいにつきましてもご指導くださるようお願いいたします。



次はマラソン大会、頑張るぞ！

「スポーツの秋」、次はマラソン大会です。10月19日（火）（雨天時は21日）に恒例の校内マラソン大会を実施します。詳細は、先日配付した案内の通りです。また、マラソン大会に向けての練習として、10月1日（金）から、かけ足がんばり運動「レッツランランラン」が始まりました。練習から万全の体調で臨めるように、お子様の健康管理をよろしくをお願いします。

野外活動&バス遠足！

10月4日（月）5日（火）に5、6年生は刈安小、萩野台小と合同で野外活動を行います。行先は銀河の里キゴ山です。新型コロナウイルスの影響で宿泊はできず、二日間往復することになりますが、三校合同で野外活動に取り組みます。また、1～4年生は、10月4日（月）にバス遠足を実施します。行先は、中谷宇吉郎雪の科学館と航空プラザです。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、なかなか学校外に出ることが少なくなっていますが、この日はいい思い出を作れたらと思います。

自律する子を育てるために

子どもの幸せを願わない親はいないと思います。それ故に、子どもが失敗しないように、苦しめないようにいろいろ心配していることと思います。

「子育て四訓」という深い言葉があります。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、

1. 乳児はしっかり肌を離すな。2. 幼児は肌を離せ、手を離すな。3. 少年は手を離せ、目を離すな。4. 青年は目を離せ、心を離すな。

「子育て四訓」では、「手放すことの大切さ」を教えてくれています。子育ての悩みを抱える親は、「親としてしっかり教育をしなければいけない」「子どもが失敗しないように親がしっかりしないと」という思い込みが強く、つい子どもが自ら解決しなければならない問題にも口を出してしまい、結果、子どもが立ち立つのを邪魔していることがあります。

先日読んだ本の中で、次のような内容のことが書いてありました。『子どもはいつだって未知の新しいことに挑戦しています。当然、慣れるまでには時間や経験が必要です。子どもに必要なのは、慣れるまでの経験を積む時間です。その中で達成感を積み重ねることが最も重要なのです。自分の手で一つひとつ積み重ねた達成感があってこそ、子どもは自律的に向上していきます。そのためには、子どもが一度取り組み始めたら、手を貸さずにじっくり見守り、一つひとつ達成感を積み重ねることがポイントです。すぐに結果が出なくとも、懸命に取り組み、さっきよりも上達している実感を得ること。それが子どもの成長につながります。親の中途半端な手助けは、かえってやる気を奪い、せっかく始めたこともマイナスになってしまいます。』（出典：「子どもの幸せを一番に考えるのをやめなさい」陰山英雄著

自分もそうでしたが、ついつい子どもが失敗しないように、悩まないように、先回りをして自分の考えを押し付けてしまう傾向があると思います。自分で悩んで考えて問題を解決し、達成感を積み重ねることが、子どもを自律させることにつながるのだと思います。